

「家がいいね」 第80号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2011. 1. 7

行く年、来る年

大晦日の晩は、この1年の感謝の気持ちで外宮に参拝します。子供達は篝火での餅焼きが毎年楽しみです。すぐ近くの勾玉池の畔に、

2012年には遷宮資料館「せんぐう館」完成と聞きました。遷宮も間近です。



ごめんな ありがとう さようなら

映画を作る中に人生以上のドラマがあった話です。

1982年に日本公開のアメリカ映画『黄昏』は、人生の黄昏を迎えた老夫婦と娘、彼女の結婚相手の連れ子の心の交流を描きました。ヘンリー・フォンダ、キャサリン・ヘップバーンの



晩年の代表作で、二人にアカデミー主演賞をもたらした名作です。実は娘役のジェーン・フォンダが、不仲だった実父ヘンリーのために企画し、父の相手役を直接キャサリンに出演交渉しました。映画の筋では、頑固だが認知症も出始めて老いの不安で苦悩する父親と、長年の不和を和解したい娘の間で、老妻の細やかな心遣いが見られます。



スクリーンの裏側でもそれ以上の葛藤があり、撮影も危機を孕みました。間を繋いだのは、実生活で連れ添えない女優（スペンサー・トレイシー）の最期を看取り、影から葬儀を見送ったキャサリンでした。彼の愛用の帽子をヘンリーが受け取り、映画で離さず使っています。「すまなかつたな」という言葉が、実の父娘でも交わされ、映画同様に父と娘の絆は復活します。ヘンリーが亡くなったのは受賞後まもなくで、「ありがとう」と「サようなら」も間に合ったのです。

年賀状での「挨拶の一部

南天には、難を転ずるの意味があり、この雪の兔にも意志を感じますね。目に見えない大事なものを守るため、

一日一日を大切にしたいと思います。

写真はNさん宅の玄関でお手製の門松を見せて頂きました。



元気をもらった、とは？

還暦を過ぎると、言葉について違和感を持ちます。「差し上げた覚えがないのに」と皮肉がムクムクと湧き上がって来ます。モノの貸し借りのように安易に使っていない？と言いたいのです。もし、「その言葉や態度を見て、私の中にも元気が湧いてきた」と言われれば、おおと膝の一つも打ちたくなるでしょうけど。

同じように「パワースポット」という騒ぎ方も嫌いです。誰もが其処に行けば、得られるものなら、金で買つのも同じ事になります。世の中の流行には、必ず仕掛け人が居るとこれも皮肉に考えます。

継続可能な社会とは？

エコ、環境に優しいというが、本当に次の世代に今と同じ環境を手渡せるのだろうかと思う。

私達は、自分達の身に余るものを消費し浪費して、それでも自分には不足だ、もっと多く手に入れている人も居るのにと、不満の中で身を焦がす。

世界が等しく分かちあう、次の世代にツケを回さない、それが「継続可能な」考え方の中に含まれている。土、水、食べ物、エネルギーと恵まれすぎの私達が常に考えなければならぬことです。



自宅での人生を 最期まで支援します

〒516-0805
三重県伊勢市御園町高向 927
電話 0596-20-8104
ファクス 0596-20-8105
mail homecare@kr.tcp.ip.or.jp
<http://www.tcp-ip.or.jp/~takuro>